



- 立ち上がる農山漁村 -  
自律的活性化マニュアル



平成19年 3 月

農林水産省農村振興局企画部農村政策課

財団法人 農村開発企画委員会

# 目次

## はじめに

「立ち上がる農山漁村」とは .....	1
「立ち上がる農山漁村」にみる活性化のポイント .....	2
自律的活性化マニュアル ~地域が立ち上がるための手引き ..	4

## 自律的活性化マニュアル

立ち上がるシステム .....	5
a . 農産加工品の製造・販売 / b . 農林水産物の生産・販売 / c . 都市農村交流・グリーンツーリズム / d . 地域資源リサイクル / e . 森の保全・木の活用	
立ち上がるプロセス .....	11
STAGE 発想・発意段階 - SEEDS の発見・選択 .....	12
1 . 特産品関心主体の集結、母体の組織化 / 2 . 優位資源への注目 / 3 . 製品化研究/商品化確信の保有	
STAGE 準備段階 - 経営資源の備え .....	18
1 . 中核体制の構築 / 2 . 経営理念・事業方針等 / 3 . 製造・販売業態の決定 / 4 . 商品仕様・構成、商品 / 5 . 必要資金の調達 / 6 . 必須業務・義務遂行力や専門知識の保有 / 7 . メンバーのスキルアップ / 8 . メンバーの従業・就労規程の確立 / 9 . 拠点整備 / 10 . 地場原料確保とその体制整備 / 11 . マーケティング・消費者ニーズの把握	
STAGE 実践・発展段階 .....	34
1 . 商品製造・販売 / 2 . 販売促進・顧客開拓 / 3 . プロモーション活動 / 4 . 商品ブランド価値・商品訴求力の向上 / 5 . 関連主体との連携強化 / 6 . 後続商品開発 / 7 . 事業展開（事業拡大 事業縮小）を考える / 8 . 地域還元 / 9 . 事業方針・従業規程等の定期的確認、不断の経営対応 / 10 . 重要課題発生時の経営対応	
STAGE 持続ケア段階 .....	47
後継者の育成	
参考 選定事例一覧 .....	49

## はじめに

### 「立ち上がる農山漁村」とは

地域、特に農山漁村が疲弊していると言われますが、自分たちの力で様々な活動を行い、元気を出している地域があります。中には70歳を過ぎる高齢者が中心となって頑張っている山間の町もあります。このような地域は他の地域に比べて決して条件に恵まれているわけではありません。自らの創意工夫と努力により逆境を克服しているのであり、「地域にできることは地域に！」の信念で、地域づくりを実践しているのです。

「立ち上がる農山漁村」は、このような地域が自ら考え行動する意欲あふれた活動を選定し全国に発信することにより、他の多くの地域の意欲を促すことを目的とした、新しい考え方に基づく農山漁村振興の取り組みです。その推進のために、農林水産業、農林水産物、農山漁村に造詣が深く、それに関係する活動を行なう各界の有識者により構成する「立ち上がる農山漁村」有識者会議（別掲）を設置し、そこでの議論に基づいて事例の選定等が行なわれています。

これまで、平成16年度に30事例、平成17年度に30事例、平成18年度には50の事例を選定し、内閣総理大臣との懇談会、各種シンポジウム、農林水産大臣他政府幹部や有識者会議委員による現地視察など、選定された活動のPRに努めてきました。その結果、各地域における活動に対する国民の関心が高まり、選定された活動の更なる発展につながっただけでなく、このような活動に取り組もうとする地域も多く芽生えてきているところです。

#### 「立ち上がる農山漁村」有識者会議委員メンバー（50音順）

アン・マクドナルド	エッセイスト、宮城大学助教授
今村 司	日本テレビ スポーツ・情報局 スポーツセンター チーフプロデューサー
小泉 武夫	東京農業大学教授
白石 真澄	東洋大学教授
長岡 杏子	TBSアナウンサー
永島 敏行	俳優
丹羽 宇一郎	伊藤忠商事(株) 取締役会長
林 良博	東京大学大学院教授（座長）
三國 清三	オテル・ドゥ・ミクニ オーナーシェフ

## 「立ち上がる農山漁村」にみる地域活性化のポイント

有識者会議では、これまでの活動や調査を通じて得られた知見をもとに、選定事例の成功要因等についてのとりまとめ、提言を行なっています。

### 1. 「成功へのメッセージ ～活力ある農山漁村から学ぶべきこと～」（平成16年度）

＜選定事例にみる「成功要因」と「地域活性化に必要なポイント」＞

#### ニーズの把握

- ・ITの活用や組織づくりによる消費者とのパートナーシップの構築
- ・直販所等における消費者とのコミュニケーションの促進
- ・品質管理、迅速なクレーム処理による消費者の信頼確保
- ・継続的で対象を明確化したPR・マーケティング活動
- ・海外における日本ブランドの高級イメージを利用した販戦略
- ・適切な問題意識を持った市場調査

#### 経営感覚

- ・経営感覚を持ったリーダーの確保・育成
- ・経営力を高めるためのアドバイザーによるサポート
- ・参加者の経営への参画意識の醸成
- ・商品化、観光化を目的とした地域資源の有効活用
- ・立ち上げ段階での行政によるサポート
- ・女性・高齢者等の地域内に存在する人的資源の有効活用
- ・生産者同士のパートナーシップの構築

#### オリジナル性

- ・企業・大学との連携による開発コストの削減
- ・ITの活用による独自のシステム開発
- ・地域の特性に着目した商品の開発と差別化
- ・徹底した品質管理・生産管理による商品の差別化
- ・地域の特色を表すデザイン開発
- ・独自のアイデアを守るための特許、商標登録などの知的財産権保護

#### コミュニティの活動

- ・活動の核となる人材（リーダー）の確保や体制づくり
- ・住民の参加意識を高めるための仕掛けづくり
- ・継続的な取り組みを経済的に支えるためのコミュニティビジネスの形成
- ・住民が参加したくなるコミュニティ形成活動の「舞台」の創造
- ・地産地消など地域内で循環させるための仕組みづくり

## 2. 「提言 - 自ら考え行動する農山漁村活性化 - 」(平成 17 年度) より

### < 切磋琢磨を促す施策 >

#### 自ら考え行動するための土台

- ・ 立ち上がろうとしている地域への協力  
立ち上がろうという意欲の高い地域を公募し、どのように地域づくりを進めていけば良いのか、地域が国や有識者会議と共に考えていく、必要に応じて適切な支援を集中させる仕組みづくりが必要である。
- ・ 活躍している地域リーダー達のノウハウの伝授  
活躍している様々な地域リーダーのノウハウをうまく他の地域の人材育成につなげていくことが重要と考える。立ち上がった地域の知見を伝授する総合的で実践的な研修を国が率先することも重要。
- ・ 住民パワーの活用  
これまでの地域づくりは、行政や行政関連の組織が中心となることが多かったが、地域住民が自ら組織をつくり活動する、地域外の住民や組織とも連携を図るといった住民自ら行動をおこすことが重要である。このような住民活動を支援することが、大局的に見れば効果・効率的な地域活性化につながる。

#### 創意工夫を活かせる制度

- ・ 地域の持ち味を活かすための整備  
地域にはそれぞれの持ち味がある。それを活かすためには情報基盤や都市住民の受け入れ基盤のように一定の条件が整備されている必要がある。但し、これまでの都市と農山漁村の格差是正のような画一的な整備ではなく、農山漁村がその持ち味を活かすために必要な条件整備をそれぞれの地域が自ら選択できるような制度とすべきである。
- ・ 地域の創意工夫を守るための仕組み  
知的財産の保護制度は、農山漁村の小さなグループにとって、相談する窓口も少なく、権利を取得することや保護することが容易ではないとの意見がある。農山漁村においても適切な情報やアドバイスを得ることができる仕組みが必要である。

#### 再挑戦のための新たな力

- ・ 企業の力を農山漁村に  
近視眼的な利益追求ではなく、中長期的な視点から農山漁村の活性化に寄与する企業活動が芽生えつつある。このような企業活動を促進するような新たな取組みを検討すべきである。
- ・ 大学等の知見を農山漁村に  
新たな存在基盤を求めて、また学術的活力を求めて、地域との連携を模索している大学等の研究機関の動きがある。これら大学等との協働により地域の創意と工夫を高めることを検討すべきではないか。
- ・ 団塊世代のノウハウを農山漁村に  
農山漁村にUターン、Iターンされた方々が地域のリーダーになって地域を引っ張っている事例が多く見られる。都会や会社において培われた能力を農山漁村の活性化に役立ててもらおうような働きかけ、特にこれから退職される団塊世代に焦点をあてた取組みが必要である。

## 自律的活性化マニュアル ~ 地域が立ち上がるための手引き

「立ち上がる農山漁村」のこれまでの活動で見出されてきた全国各地の先進事例は、これから立ち上がろうとする地域にとって最良の教科書となることは言うまでもありません。そこで本書では、前項でみたようなこれまでの選定事例の分析をもとに、現在地域で行われている活動等をより自律的に活性化させ、立ち上がっていくための具体的なプロセスとポイントを整理し、「自立的活性化マニュアル」としてとりまとめました。

### マニュアルの構成

このマニュアルは大きく2つの部分からな成ります。

#### 立ち上がるためのシステム

成功する活動には、成功する要素と、それらを組み合わせて動かす仕組み(システム)があります。ここではまず、「立ち上がる農山漁村」の選定事例における活動のジャンルごとに、その成功の要因はどのような要素がどのような仕組みによって動き、活性化にむすびついているのか、という視点からポイントを整理します。

#### 立ち上がるためのプロセス

成功までのプロセスは、その活動の個々の内容や条件によって異なり、事例の数だけプロセスも存在すると言えますが、ここでは、ひとつのジャンルの活動を例に、その先進事例(「立ち上がる農山漁村」選定事例)の成功過程において、不可欠と思われる実践例を整理します。

### マニュアルの活用にあたって

このマニュアルは、以上の2つの視点から先進事例をみることで、これから立ち上がろうとする地域の活動を自己診断的にチェックし、現在あるいは今後実践すべきことの確認、課題解決の手引きとして活用することが望まれるものです。

あくまでも限られた事例の中でのものですが、今後、このマニュアルを叩き台に、様々な活動事例と、そこでの経験が積み重なることで、より実践的なマニュアルになっていくものと考えます。

## 立ち上がるためのシステム

### 自律的活性化マニュアル

「立ち上がる農山漁村」に選定されたこれまでの事例を整理すると、その活動内容から大きく5つのジャンルに区分できます。ここでは、そのジャンルごとに、各事例が成功したシステムについて、活動等の具体的な成果、その成果を生み出すために実践した活動、その活動が実践できた要素・条件、という3点から特徴を整理しました。

この3点は、これから立ち上がろうとする側からみると、活動等の目標、その目標を達成するための活動方策、活動のために整備すべき条件、と読み替えることができます。そうすることで、今後の方向性を見定める大きなヒントを得ることができるはずです。

#### 「立ち上がる農山漁村」5つの活動ジャンル

- a . 農産加工品の製造・販売
- b . 農林水産物の生産・販売
- c . 都市農村交流・グリーンツーリズム
- d . 地域資源リサイクル
- e . 森の保全・木の活用

## a . 農産加工品の製造・販売

地域の産物を加工・製品化して販売する活動は、農林漁業の一部として古くから農山漁村で取り組まれてきた活動といえます。そのぶん事例も数多く、内容も多岐にわたります。

その中で、地域が立ち上がることに大きく寄与した事例を整理すると、次のようなシステムが浮かび上がります。

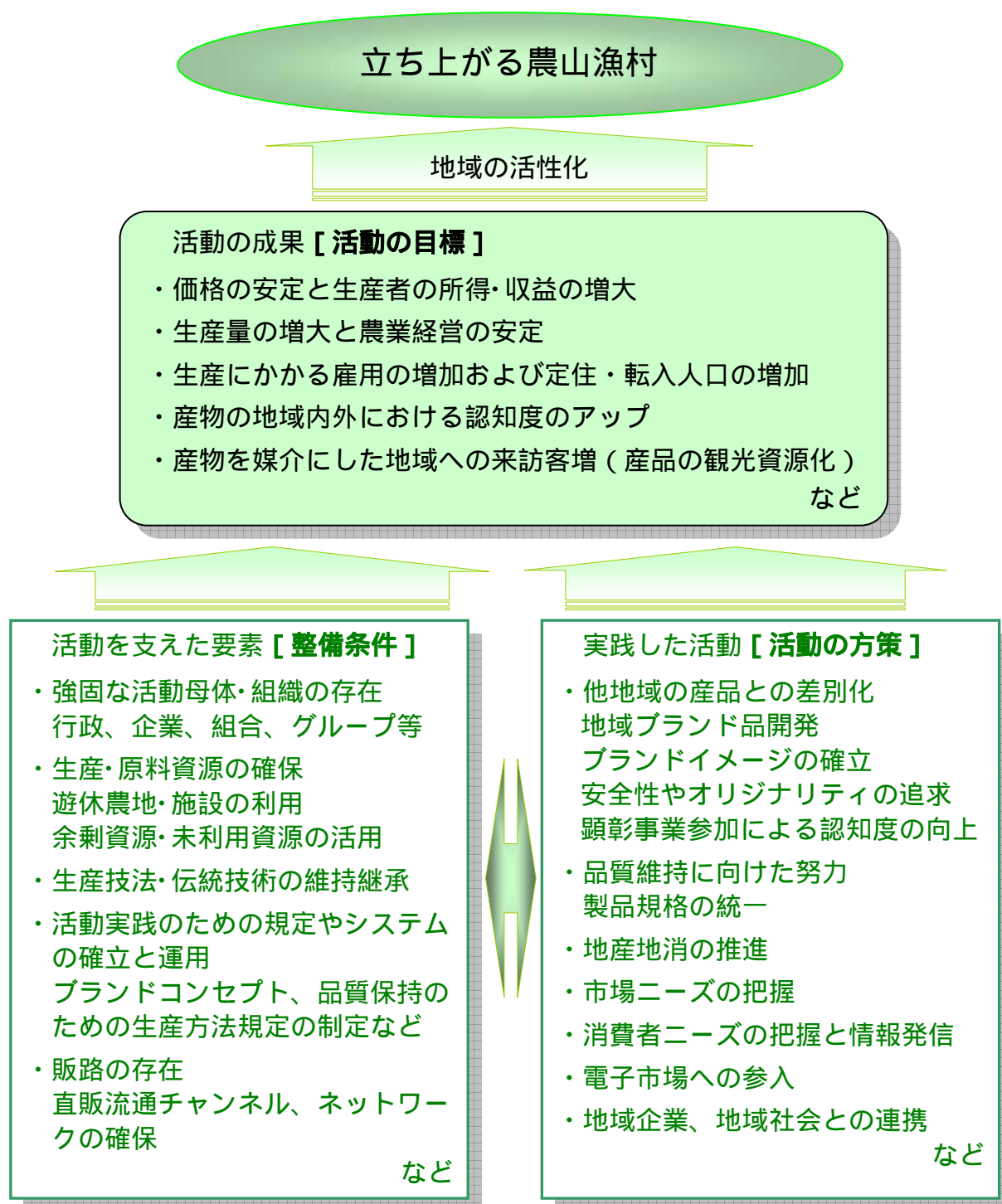




## b . 農林水産物の生産・販売

農林水産物の生産・販売のジャンルについては、農山漁村におけるそもそもの生業であることもあって、前項の農産加工と同様、多くの地域で多様な取組みがなされています。

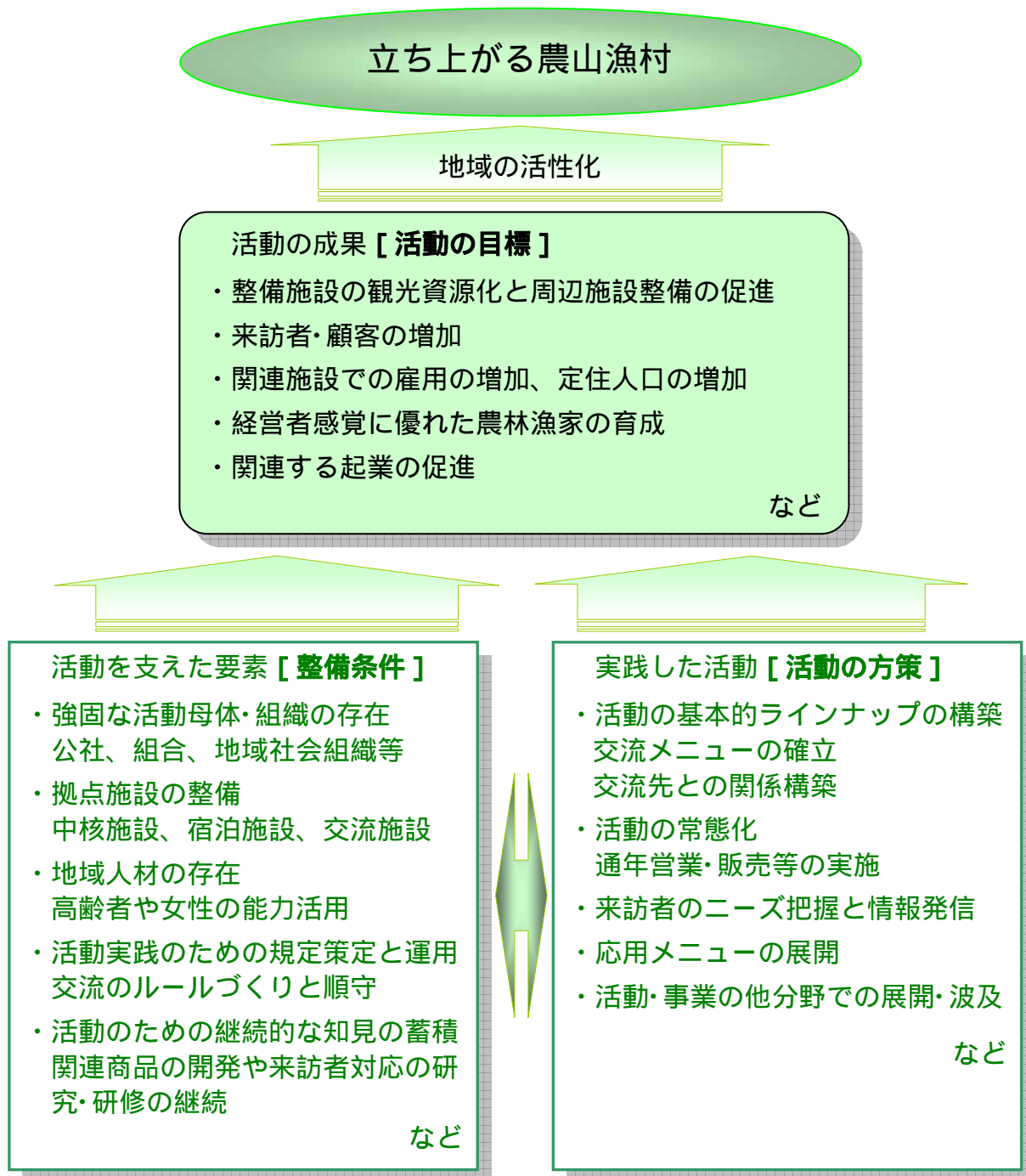
立ち上がるシステムに関しても前項との重複がありますが、農林漁家経営に直結する部分も多いことから、よりシビアな条件・方策が求められているともいえます。



## C . 都市農村交流・グリーンツーリズム

都市農村交流・グリーンツーリズムは、地域への経済的効果が大きく、地域活性化への寄与も大きい活動といえます。

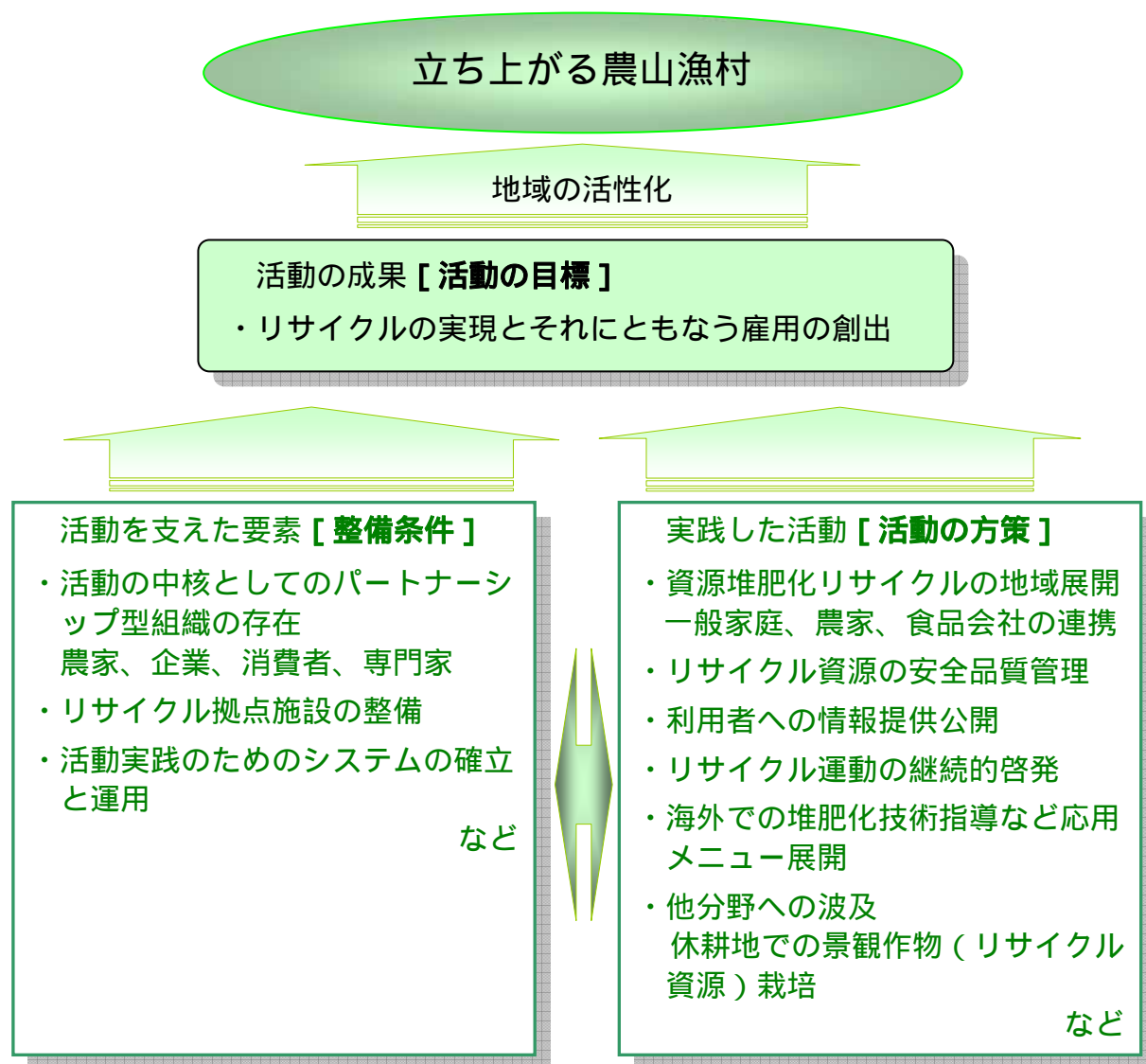
その反面、外部からの来訪者の増加が地域の社会や生活に与える影響も大きく、そのルールづくりに取り組むことも重要です。



## d . 地域資源リサイクル

地域資源リサイクルは、地球環境への関心が高まる中、地域をあげての新しい取り組みとして、近年増えつつあります。立ち上がる農山漁村の選定事例の中でもひとつのジャンルを形成する取り組みとなっています。

リサイクルの実現には、多くの人的・社会的ネットワークが必要であり、地域の活性化に大きく関与する取り組みであるといえましょう。



## e . 森の保全・木の活用

森林資源も農山村を形作る重要な要素ですが、森林の荒廃は農地のそれ以上に深刻な状況を招いています。国土を保全するという意味からも、森林の維持管理は重要な取り組みであり、それを地域ぐるみで実践することで、地域の活力上昇にも寄与するものと思われまます。

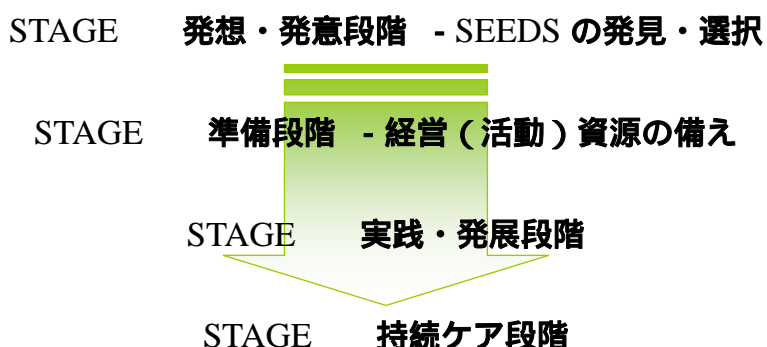


## 立ち上がるためのプロセス

### 自律的活性化マニュアル

地域が立ち上がり、活性化に成功するまでのプロセスは、個々の事例の活動内容や取り巻く条件によって大きく異なります。成功のための「王道」が存在するわけではなく、様々な条件下で生じる多様な課題をその都度克服し、それぞれがステップアップしていくものであることは、「立ち上がる農山漁村」の選定事例からも言えることです。

そうした中で、ここでは比較的全国に事例が多く、かつ共通した課題が生じることの多い「農産加工品の製造・販売」活動を例として、その成功過程において不可欠と思われる実践例を時系列に整理してみました。その大きな流れは次のようなものです。



あくまでも一部の先進事例の成功過程の整理ではありますが、このプロセスを参考に、活動の推進状況をチェックすることで、実践すべき内容や留意点に気づくことができるものと考えます。

文中に例示される「立ち上がる農山漁村」選定事例の詳細については、農林水産省のウェブサイト内（<http://www.maff.go.jp/tatiagaru/section.htm>）を参照してください。

## STAGE 発想・発意段階 - SEEDS の発見・選択

### 1. 特産品関心主体の集結、母体の組織化

地場産物を用いた特産品加工や、郷土料理創出に関心ある主体の結集、推進する母体を組織する。

特産品の加工等を進める主体や母体が生まれるケースには、次のようなものがあります。

熱意のある個人がそのまま活動の主体として  
特産品加工を考える。

兵庫県小野市 [“60歳からの青春” 起業で人生が変わった ](H18)

：ヨーグルト製造

酪農を営む傍ら試作したヨーグルトが好評だったことを心の支えに、商品化にむけた試行錯誤をひとり続け、3年がかりで製造販売活動に至りました。

同好の農協組合員や生活改善グループ、有志グループが集まり  
特産加工等の研究を進める。

北海道江差町 [ 伝統菓子「追分こうれん」の製造・販売 ](H18)

：農協女性部 / 特産加工・伝統料理研究

農協女性部の親睦交流であった活動が、特産品加工・伝統料理研究へと展開し、現在では町内の祭りやイベントに欠かせない存在となっています。

岩手県二戸市 [ ちっちゃい店のでっかい夢 かあちゃんたちの食育 ](H18)

：農家女性有志グループ / 手づくり料理研究

消え去ろうとしている伝統的郷土料理を保存・継承するために、農家の主婦13名で結成された研究グループ。

福井県美浜町 [ 漁村女性のパワーで「へしこの会社」を設立 ](H18)

：漁家女性グループ / 地元魚活用研究

漁村女性グループによる地元魚の利用についての検討会の開催を契機に、漁家女性だけで結成されたグループ。

兵庫県佐用町 [ 生き甲斐づくり「生涯現役」 ](H18)

：生活改善グループ / 地元特産物の加工

地元の特産品開発を目的とした生活改善グループが、加工施設の建設を機に活動を拡大しました。

STAGE

---

山口県下関市 [ 夢を橋にかけた島の女性起業活動 ] (H18)

：漁家女性有志グループ / 海産物の加工・販売

地域特産品開発に意欲的な有志 15 人が加工、直売、食堂経営に挑戦しました。

秋田県横手市 [ 女性グループが手作りの漬物を秋田から全国へ ] (H17)

：農協婦人部員と地域婦人会員 / 野菜の保存法と下漬漬物の学習

規格外の野菜に付加価値をつけ有効活用することを目的に、農協婦人部と地域婦人会から賛同者が集まり漬物研究会を設立しました。

滋賀県甲賀市 [ 古代黒米を使った特産品作り ] (H17)

：町の商工会女性部 / 県商工会連合会の事業で特産品開発

町の商工会女性部が、他地域との交流の中で特産品開発の必要性を認識し、有志でグループを結成、活動をはじめました。

STAGE

## 2 . 優位資源への注目

特産品や郷土料理に値する、あるいはそれにつながる潜在資源や種（SEEDS）を発見する。

特産品につながる SEEDS / 種の発見は、次のようなことがきっかけとなり得ます。親類縁者への贈答など自家用製品の私的提供機会でも高評価を得る。

北海道名寄市 [ 地域特産「もち米」の生産から加工、販売まで ](H18)  
： 地場原料の餅

各家庭でついた正月用のお餅を親戚・友人に送ったときの評価が非常に高く、「絶対売ってみせる」という自信につながりました。

兵庫県小野市 [ “ 60 歳からの青春 ” 起業で人生が変わった ](H18)  
： 自家産牛乳によるヨーグルト

自家生産の牛乳で試験的に作ったヨーグルトをイベントで販売したところ、短時間で完売し、そのときの感動と充実感からビジネス化に至りました。

地域伝統の産物、地域の主要産物、地域伝統の味や技法に注目する。

北海道江差町 [ 伝統菓子「追分こうれん」の製造・販売 ](H18)  
： もち米菓子

地域に古くから伝えられている手作りの米菓子「こうれん」に注目して、地場産のもち米をつかった「追分こうれん」を商品化しました。

新潟県山北町 [ 地域の伝統文化・生業にこだわった製造体験と販売 ](H18)  
： 焼畑農根菜漬け / 灰活用食物

地域の伝統である「焼畑」農法で栽培する「赤かぶ」を活かした体験イベント、木灰を活かして作る「アク笹巻き」(ちまき)など、灰の文化を継承・提供する活動を展開しています。

愛知県愛西市 [ 水郷の味わい豊か「レンコン料理」で地域に活力！ ](H18)  
： レンコン料理

消費が低迷していた特産品のレンコンに着目して調理法を研究、出荷時にレシピを添えたり、料理実演会を開催したりして普及に努め、消費拡大につなげました。



STAGE

島根県海士町 [「自立・挑戦・交流」～そして確かな明日へ](H18)

：海産物

少子高齢化が進む離島で、地域資源＝海産物を活用した商品開発を展開、「外貨の獲得」(島外からの資金の流入)による地域活性化を図りました。

秋田県横手市 [女性グループが手作りの漬物を秋田から全国へ](H17)

：漬物

規格外野菜(余剰農産資源)に付加価値を付けたいという願いのもと、農家伝統の漬物技法へ着目して、「秋田の田舎漬け」として商品化に成功しました。

滋賀県甲賀市 [古代黒米を使った特産品作り](H17)

：古代黒米

地元で生産される古代黒米を使った開発商品に、甲賀流忍者をイメージした「黒影」を用いて「黒影米」「黒影おこわ」等の名前をつけ、オリジナリティをアピールしました。

地域伝統の工芸・手仕事に注目する。

新潟県山北町 [地域の伝統文化・生業にこだわった製造体験と販売](H18)

：しな織り

地域で受け継がれてきた、日本三大古代織りのひとつである「しな織り」に着目し、「しな布」を商品化しました。それまで農具などの生活用品に使われてきたものが商品となり、新たな収入源となりました。

加工手間の代替需要が大きい加工や伝統料理に注目する。

福井県美浜町 [漁村女性のパワーで「へしこの会社」を設立](H18)

：魚の糠漬け“へしこ”

1年の熟成期間が必要とされる「へしこ」(魚の糠漬け)を、伝統的保存食として見直し、現代の食に合った味に改良することで、地域の特産品として提供するまでに至りました。同時にへしこ作りの体験学習等を通して、地域の食文化の若い世代への伝承にも努めています。

今日的な機能やニーズを有す素材に注目する。

岩手県二戸市 [ちっちゃい店のでっかい夢 かあちゃんたちの食育](H18)

：雑穀料理 / 健康・本物志向

昔から栽培・保存されてきた雑穀や山菜等を、「土産土法」(その土地でとれた産物をその土地の調理法で食べる)にこだわって提供するレストランを展開、安全・安心な本物志向の食の価値がマスコミを通じて全国規模で評価されました。

STAGE

### 3 . 製品化研究 / 商品化確信の保有

SEEDS を商品として仕上げる期間を設け、特産品・名物料理として市場に出す自信や確信がもてるまでにすることが大切である。研究は準備段階まで続き、それ以降も適宜必要となる。

商品としての自信を持つための研究実践として、次のような対応がとられています。自治体などによる地域産業振興事業への取り組みにおいて、  
特産品や郷土料理を見出し製品化に動く。

新潟県山北町 [ 地域の伝統文化・生業にこだわった製造体験と販売 ](H18)  
：商工会による村おこし事業

この地域には、代々織り継がれてきた伝統工芸品の「しな布」があり、町の商工会が「村おこし事業」として、この「しな布」をテーマとした地域活性化策を検討しました。その結果、それまで農具などの生活用品として扱われてきた「しな布」が商品化されるに至りました。

地域全体で試作・試食などを実践し、新特産物特定を図る。

奈良県桜井市 [ 地元産そばを使ったそば処の経営 ](H18)

：生産と消費が直結した地域の優位性、地元一貫栽培・加工・販売の確信  
特産化を目指してそばの栽培を開始、玄そばの販売だけでは収益があがらないことから加工販売を検討しました。地元住民の理解を得るために、全戸参加の試食・説明会を実施、乾麺製造から生麺での食堂経営へと発展を遂げました。

同好の志が集まり、特産品加工や郷土料理の試作・研究を行う。

「1 . 特産品関心主体の集結、母体の組織化」 を参照。

個人的に商品化研究に突き進む。

兵庫県小野市 [ “ 60 歳からの青春 ” 起業で人生が変わった ](H18)

：先進地研修等

ヨーグルト製造に着手した当初は、食品衛生面の難しさから保健所に「止めたほうがいい」と言われたこともありましたが、2年半にわたり先進事例の視察等を重ね、製造許可、営業許可を得るに至りました。研修ではドイツ・イギリスにまで足を運び、本場のグリーンツーリズムを学んでいます。

STAGE

---

企業による研究。

---

岐阜県恵那市 [ 超特選恵那栗の拡大 ] (H17)

：菓子製造店による栗の栽培技術と品種開発研究。

栗の産地にある菓子店「里の菓工房」では、生産者（契約農家）と連携して栽培方法等を統一し、厳しい基準を設けた「超特選恵那栗」の生産を展開しています。その生産量は飛躍的に増えており、さらに栽培管理方法や品種の研究開発を続け、新商品の開発にも努力を続けています。

## STAGE 準備段階 - 経営資源の備え

### 1. 中核体制の構築

事業参加への揺るぎない意思・姿勢をもったメンバーで中核体制をつくる。あるいは、メンバーが事業参加への意思と姿勢を自覚できる体制を作る。

組織形態として、先進事例では次のような形態が多く選択されています。事業活動や事業目的に相応しい方式を選択することが大切です。

#### 株式会社

北海道名寄市 [ 地域特産「もち米」の生産から加工、販売まで ] (H18)

：(株)もちごめの里ふうれん特産館

7戸の農家が夫婦単位の事業参加というハードルを設定し意思を固めました。

高知県四万十町 [ 四万十川の天然素材を活かした商品開発で地域の活性化 ] (H18)

：(株)四万十ドラマ

地場産品を活かした30種におよぶ商品開発・販売で業績を伸ばし、行政の支援なしでも運営できるようになったことから株式会社化しました。

島根県海士町 [ 「自立・挑戦・交流」～そして確かな明日へ ] (H18)

：(株)ふるさと海士

農林水産物を核とした産業の活力アップと雇用創出を図るため、町と地元とで第3セクター方式の株式会社化を実現しました。

#### 有限会社

山形県鶴岡市 [ 自然食は自然色！お漬物で村おこし ] (H18)

：羽黒・のうきょう食品加工有限会社

産地育成と地域活性化の観点から、農協と漬物問屋との合併で、漬物を加工販売する有限会社を立ち上げました。

福井県美浜町 [ 漁村女性のパワーで「へしこの会社」を設立 ] (H18)

：有限会社なぎさ会

特産品の推進を担当していた役場の元職員がリーダーとしてグループを引っ張り、漁家の女性だけで有限会社を設立しました。

兵庫県小野市 [ “60歳からの青春” 起業で人生が変わった ] (H18)

：(有)陽子の手づくりヨーグルト

個人で手掛けていたヨーグルトの製造販売が軌道に乗り、60歳を過ぎてから有限会社化を実現させました。

STAGE

兵庫県佐用町 [ 生き甲斐づくり「生涯現役」 ] (H18)

：有限会社ふれあいの里上月

大豆加工に取り組む中で、加工所、直売所と整備が進み、生産・加工・販売のシステムが整ったところで、町と従業員との共同出資による有限会社を設立しました。

奈良県桜井市 [ 地元産そばを使ったそば処の経営 ] (H18)

：(有) 荒神の里・笠そば

地域ぐるみでそばの栽培・加工販売に取り組み、補助事業による施設整備が進んだことを機に、集落全戸(71戸)が社員となる有限会社を設立しました。

山口県下関市 [ 夢を橋にかけた島の女性起業活動 ] (H18)

：(有)フレッシュしおかぜの里

有限会社化したことで勤務体制を整備し、女性が働きやすい環境を創出しました。20歳代～70歳代までメンバー18人が分散することで、世代間の交流や生活技術伝承も可能となっています。

滋賀県甲賀市 [ 古代黒米を使った特産品作り ] (H17)

：(有)くのいち本舗

有限会社化が収益の向上・事業継続・地域活性化につながると判断して、商工会会員とその家族19名が中心に出資し、保健所営業許可取得にあわせて有限会社化しました。

組合

新潟県山北町 [ 地域の伝統文化・生業にこだわった製造体験と販売 ] (H18)

：さんぼく生業の里企業組合

女性4名が中心の活動に対して、“金を出しても口は出さず”のルールで運営協力者を求め、18名の出資者で組合を作りました。

協議会

奈良県桜井市 [ 地元産そばを使ったそば処の経営 ] (H18)

：笠そば促進協議会

前述( )の有限会社化以前に結成され、当初は協議会の女性部48名が加工・販売主体でした。有限会社化後はそば栽培の主体として活動しています。

組合員や同好の有志グループ

農協・漁協、地域婦人会、生活改善グループ、その他有志によるグループなどの事例が多くあります。

STAGE

## 2 . 経営理念・事業方針等

事業実施の拠り所や指針となる経営理念、事業方針、創業使命等を決定する。

経営理念や創業使命として重要視されるポイントには次のようなものがあります。

産地本位・産地ペースを崩さない。

新潟県山北町 [ 地域の伝統文化・生業にこだわった製造体験と販売 ] (H18)

伝統工芸品である「しな織り」や「焼畑」農法で栽培する「赤かぶ」、木灰を活かして作る「アク笹巻き」(ちまき)などを来訪者に提供していますが、こうした地域独自の伝統文化を壊さぬよう、来訪者に媚びずに、地域の生活文化への賛同者のみを迎え入れることを原則として交流を続けています。

岐阜県恵那市 [ 超特選恵那栗の拡大 ] (H17)

地域で採れる高品質の栗のみを高い相場で地元の菓子店が買い取るという、地域の素材を地域で加工し、地域で販売する仕組みを作り上げ、栗の生産量は3年間で3倍に伸びました。

地域振興、地域課題解決をめざす。

秋田県横手市 [ 女性グループが手作りの漬物を秋田から全国へ ] (H17)

農家の女性が規格外の野菜で漬物をつくるというありふれた活動ですが、余剰野菜の有効活用、農家の所得向上、女性の就労機会の創出、町の特産品作りといった、地域の多くの課題を解決することにつながっています。

### 3 . 製造・販売業態の決定

特産品製造（料理作り）・販売の業態を決定する。

設立当初段階での特産品・郷土料理の製造販売業態としては次のようなものがあります。

製造した特産品は卸しをせず直販（自店舗・産直）のみ。

新潟県山北町 [ 地域の伝統文化・生業にこだわった製造体験と販売 ] (H18)

：しな織り

福井県美浜町 [ 漁村女性のパワーで「へしこの会社」を設立 ] (H18)

：へしこ漬

岐阜県恵那市 [ 超特選恵那栗の拡大 ] (H17)

：栗と栗菓子

自社店舗のみの販売に限定しています。地域に買い求めに来ることを狙った取り組みです。

製造した特産品は直販および小売店卸しをする。

北海道名寄市 [ 地域特産「もち米」の生産から加工、販売まで ] (H18)

：餅製品

山形県鶴岡市 [ 自然食は自然色！お漬物で村おこし ] (H18)

：漬物

兵庫県小野市 [ “ 60 歳からの青春 ” 起業で人生が変わった ] (H18)

：ヨーグルト

兵庫県佐用町 [ 生き甲斐づくり「生涯現役」 ] (H18)

：もち大豆製品他

当初は育苗や再出荷も行っていたましたが、従業者の事情もあり加工重視に転換。これが功を奏して売上が増えました。

島根県海士町 [ 「自立・挑戦・交流」～そして確かな明日へ ] (H18)

：海産物加工製品

レストラン等で郷土料理を提供する。

岩手県二戸市 [ ちっちゃい店のでっかい夢 かあちゃんたちの食育 ] (H18)

：雑穀料理

愛知県愛西市 [ 水郷の味わい豊か「レンコン料理」で地域に活力！ ] (H18)

：レンコン料理

## STAGE

---

特産品の直販の他、レストラン等で特産品を使用した料理を提供する。

新潟県山北町 [ 地域の伝統文化・生業にこだわった製造体験と販売 ](H18)

：漬物・餅加工品・郷土料理

山口県下関市 [ 夢を橋にかけた島の女性起業活動 ](H18)

：海産物加工・料理提供・地元野菜の直売

これまで島内で流通しなかった地元野菜販売・地産地消の動きを生みだしました。

特産品開発プロモートと通販・卸し。

高知県四万十町[ 四万十川の天然素材を活かした商品開発で地域の活性化 ](H18)

：四万十川沿岸特産品

通信販売と卸販売をミックスして販路を拡大しています。



## 4 . 商品仕様・構成、商品

製造・販売する商品仕様・構成を確定する。

商品の仕様・構成の確定に関しては、次のような選択肢があり得ます。

商品の仕様と構成を限定的にし、その育成を図るため  
無闇に商品構成を増やさない。

新潟県山北町 [ 地域の伝統文化・生業にこだわった製造体験と販売 ] (H18)

：「しな織り」、食品加工

個々の生産者にあった基準を地域で統一しました。

福井県美浜町 [ 漁村女性のパワーで「へしこの会社」を設立 ] (H18)

：へしこ漬け

伝承のへしこを現代にあった味にするために消費者ニーズ調査をし、都市住民嗜好にそった商品仕様としました。

兵庫県小野市 [ “ 60 歳からの青春 ” 起業で人生が変わった ] (H18)

：ヨーグルト

自家産の抗生物質を使用しない牛乳を原料とすることで一貫しています。

岐阜県恵那市 [ 超特選恵那栗の拡大 ] (H17)

：栗と栗菓子

菓子製造店と農家で超特選栗基準を設定し栽培方法等を統一しました。3年間かけてブランド戦略を練り、独自の製品作りと『本物はここにある』という顧客の評価および顧客作りを果しました。現在、需要に少し足りない程度の生産ですが、恵那栗ブランド力の維持・値崩れ防止には適切な量と考えています。

中心となる商品の仕様を決め、同種商品のバリエーション  
による構成増をめざす。

山形県鶴岡市 [ 自然食は自然色！お漬物で村おこし ] (H18)

：漬物

64 種におよぶ試作を繰り返し、3 種類を製品化しました。

奈良県桜井市 [ 地元産そばを使ったそば処の経営 ] (H18)

：そば

100% 地元産の石臼挽きそば粉を用いて 9 種のそばメニューを提供しています。

## STAGE

秋田県横手市 [ 女性グループが手作りの漬物を秋田から全国へ ] (H17)

：漬物

甘さ控え目・塩分控え目の独自の味を創出し、味噌漬け・粕漬けの2種類を提供しています。

中核商品の他に、地域の産物を用いた周辺製品・料理

を備えた商品を考えていく。

愛知県愛西市 [ 水郷の味わい豊か「レンコン料理」で地域に活力！ ] (H18)

レンコン料理を中心に、川魚料理・水耕葉菜等を用いた郷土料理の新メニューを考案しました。

兵庫県作用町 [ 生き甲斐づくり「生涯現役」 ] (H18)

もち大豆製品が加工品の半数以上の14種を占めますが、これまで全42種の地場農業特産品を開発しています。味噌では米麹も地場産、豆腐では難易度の高い一昔前の『水にがり』使用の製法で懐かしい味を確保しています。

山口県下関市 [ 夢を橋にかけた島の女性起業活動 ] (H18)

海産物食堂では、刺身定食、「しおかぜ御前」などの主要商品の他、地元ワカメを使ったソフトクリーム、ワカメ練り込みうどんなどの新開発商品も提供しています。店内アンケートをもとに、味や盛り付け等の改良・改善を重ねています。

島根県海士町 [ 「自立・挑戦・交流」～そして確かな明日へ ] (H18)

白いか、真鯛、岩ガキなどの水産加工を主に、「いわがきごはん」「さざえごはん」等の農産物とミックスした加工品も開発。天然塩「海士ノ塩」の生産販売、塩辛等の製造も手掛けています。

商品の持つ固有性や特性を表したインパクトのある商品名をつける。

商品名の付け方としては次のようなものが考えられます。

製品の伝統名称の転用。

北海道江差町 [ 伝統菓子「追分こうれん」の製造・販売 ] (H18)

：地域に伝わる手作りのお菓子「こうれん」

福井県美浜町 [ 漁村女性のパワーで「へしこの会社」を設立 ] (H18)

：古くから保存食として伝承されてきた「へしこ」

STAGE

---

商品の出所を明らかにする地名の使用。

北海道江差町 [ 伝統菓子「追分こうれん」の製造・販売 ](H18)

地域の名「追分」を付加しました。

奈良県桜井市 [ 地元産そばを使ったそば処の経営 ](H18)

日本三大荒神の一つである地元神社に因み「荒神の里 笠そば」をブランド名にしました。

地域の歴史や特質と結びついた名称の使用。

滋賀県甲賀市 [ 古代黒米を使った特産品作り ](H17)

商品名に忍者を連想する『黒影』を使用し、地元名産（甲賀流忍者の地）であることをアピールしています。

STAGE

## 5 . 必要資金の調達

必要な経営資金を調達する。

必要な経営資金の調達には次のような方法があります。

代表者が自己資金を投入する。

福井県美浜町 [ 漁村女性のパワーで「へしこの会社」を設立 ] (H18)

仕事を退職しグループ活動に専念する代表者が、自らの退職金を活動資金に充てました。

兵庫県小野市 [ “ 60 歳からの青春 ” 起業で人生が変わった ] (H18)

個人経営がゆえ、まずは自己資金での経営となりました。

出資者を募り資金確保する。

新潟県山北町 [ 地域の伝統文化・生業にこだわった製造体験と販売 ] (H18)

立ち上げに際して地域から出資者を募り、18人が各50万円を出資しました。

個人（従業員等）と自治体の出資。

兵庫県作用町 [ 生き甲斐づくり「生涯現役」 ] (H18)

町と従業員の共同出資の形です。

地元と自治体の出資。

島根県海士町 [ 「自立・挑戦・交流」～そして確かな明日へ ] (H18)

官民共同の第3セクター方式による経営となっています。

## 6 . 必須業務・義務遂行力や専門知識の保有

事業経営に付随する必須業務・義務 - 経理事務や品質管理、法令遵守など - への対応力を組織メンバーが保有する。準備段階以降も随時必要な知識の獲得に努める。

経営に必須となる業務・義務への対応力を保持するには次のような方法があります。

メンバー研修：専門講座・研修会への参加、組織内部の勉強会。

奈良県桜井市 [ 地元産そばを使ったそば処の経営 ] (H18)

接客や苦情処理への対応を銀行用のビデオから学習、衛生面は保健所の講習を受けるなどしました。

山口県下関市 [ 夢を橋にかけた島の女性起業活動 ] (H18)

複式簿記の研修や税理士等を招いた研修会を実施しました。

先進地視察。

北海道江差町 [ 伝統菓子「追分こうれん」の製造・販売 ] (H18)

同様の事業に関して、その立ち上げ過程や取組み姿勢について、現地研修の形で現場学習をしました。

兵庫県小野市 [ “ 60 歳からの青春 ” 起業で人生が変わった ] (H18)

ドイツ、イギリスへの 10 日間の研修に参加。本場のグリーンツーリズム体験により起業することへの認識がさらに深まりました。

奈良県桜井市 [ 地元産そばを使ったそば処の経営 ] (H18)

全国各地のそば産地を視察しました。

仲間での自主協議研修。

山口県下関市 [ 夢を橋にかけた島の女性起業活動 ] (H18)

経営に関してメンバーの意見を十分反映させるため、メンバー間でのアンケートやKJ法を用いた協議などを重ねました。

STAGE

## 7. メンバーのスキルアップ

従業員の加工技能、調理技能を高める機会や仕組みを設け、準備段階以降も続ける。

従業員の技能を高める機会や仕組みとしては次のようなものがあります。

オンザジョブトレーニングの他、各種研修参加、  
熟練者等による技術指導を行う。

山形県鶴岡市 [ 自然食は自然色！お漬物で村おこし ] (H18)

素人集団だったので手探り状態でしたが、各種講習会や講演会へ参加したり、研修会を開いたり、販売店での販売促進実習をしたりと、多くの学習機会を設けてきました。

秋田県横手市 [ 女性グループが手作りの漬物を秋田から全国へ ] (H17)

漬物の塩分を統一するために毎年講習会を開催し、品質維持に努めています。

技能資格制度を設け、技能水準を上げる動機づけを行う。

岐阜県恵那市 [ 超特選恵那栗の拡大 ] (H17)

栗を生産する上で重要な剪定作業について、「栗剪定士」制度を創出し、57名の剪定士が選定作業や技術指導にあたっています。

## 8 . メンバーの従業・就労規程の確立

家業（自家生業）を持つことの多い従業者の働きやすい条件を整える。

働きやすい条件として、次のような工夫の仕方があります。

就業時間別ローテーション体制を組み、短時間就労や  
休日を確保しながら全日営業を実現する。

岩手県二戸市 [ ちっちゃい店のでっかい夢 かあちゃんたちの食育 ] (H18)  
女性だけの組織のため、早番・遅番・休暇のローテーションを組み、メンバーそれぞれが時間の都合をつけやすい体制をとっています。

兵庫県佐用町 [ 生き甲斐づくり「生涯現役」 ] (H18)  
加工品の種類が多いため、3つの施設を用いたローテーション方式をとり、全員が作業に取り組めるようにしています。

山口県下関市 [ 夢を橋にかけた島の女性起業活動 ] (H18)  
グループを3班に分けた体制で各班責任者が作業を調整しています。繁忙期は新メンバーを募集したり、パート雇用を実施したりするなど、就業の場づくりと労働環境改善に努力しています。

従業員の自家生業シーズンの自家労働投入を容易にする。

山形県鶴岡市 [ 自然食は自然色！お漬物で村おこし ] (H18)  
繁農期休暇制度を設けることで、農業者の多い地域でありながら安定した就業環境が実現しています。

従業のし易さを保証する協定の締結。

山口県下関市 [ 夢を橋にかけた島の女性起業活動 ] (H18)  
自家農漁業と起業活動との両立のため、メンバー内の7戸が家族経営協定を締結し、家族の理解のもと就業しています。

STAGE

## 9 . 拠点整備

製造加工や食事料理提供の拠点を確保する。

設立当初段階での拠点確保策としては次のような方法があります。

中核組織代表者の所有敷地に拠点を整備する。

兵庫県小野市 [ “ 60 歳からの青春 ” 起業で人生が変わった ] (H18)

自宅敷地に工場を建設、特注機械等を設置しました。駐車場兼用のイングリッシュ交流ガーデンも整備し、パーゴラ下で休憩・ヨーグルト飲食も可能となっています。

中核組織が敷地、建物を借り受けて、拠点到転用する。

新潟県山北町 [ 地域の伝統文化・生業にこだわった製造体験と販売 ] (H18)

集落内の土地と空家を買取り(県の助成金あり)、民家風にリフォームして活用しています。

山口県下関市 [ 夢を橋にかけた島の女性起業活動 ] (H18)

漁協の元明太子工場を借りて食堂・直売・加工一体の拠点施設としました。その後、交流施設のテナントへ移転し、食堂中心の運営となりました。

滋賀県甲賀市 [ 古代黒米を使った特産品作り ] (H17)

知人のツテで借受けた建物で加工所を開設、さらに築 120 年の古民家を活用した里山カフェを設置し、イベント実施等の場に活用していきます。

中核組織(メンバー)が自力で敷地、建物を取得(建設)する。

福井県美浜町 [ 漁村女性のパワーで「へしこの会社」を設立 ] (H18)

代表者が自らの退職金を投入して土地を購入、加工場建設に至りました。

中核組織と地域が一丸になって専用施設を建設する。

島根県海士町 [ 「自立・挑戦・交流」～そして確かな明日へ ] (H18)

鮮度保持凍結技術 CAS を保有する海産物加工施設の整備、天然塩生産場の建設、港ターミナルに待合機能と農林水産物直売機能を備えた情報発信・交流施設を整備するなど、行政・地域と一体となって取り組みました(新山村振興農林漁業特別支援対策事業、漁村コミュニティ事業を活用)。

一般商業ビル等のテナント店舗に入居。

岩手県二戸市 [ ちっちゃい店のでっかい夢 かあちゃんたちの食育 ] (H18)

駅前バスターミナル内に店舗を構え、旅行者との交流機会も多くなっています。



STAGE

---

複合交流・観光施設のテナント店舗に入居。

愛知県愛西市 [ 水郷の味わい豊か「レンコン料理」で地域に活力！ ](H18)

地域交流拠点施設にレンコン料理店を構え、指定管理者制度により施設の管理も請負っています。

山口県下関市 [ 夢を橋にかけた島の女性起業活動 ](H18)

町が建設した交流施設にテナントとして出店しました。

STAGE

## 10 . 地場原料確保とその体制整備

原料確保や原料の質を一定にするための原料供給部門の体制を確立する。

原料部門の体制を確立するためには次のような方法があります。

中核組織成員（代表者）の家で原料を生産。

兵庫県小野市 [ “ 60 歳からの青春 ” 起業で人生が変わった ] (H18)

ヨーグルト製造の原料となる牛乳はすべて自家生産となっています。

中核組織との関わりの深い限定的地域からの原料確保。

新潟県山北町 [ 地域の伝統文化・生業にこだわった製造体験と販売 ] (H18)

「しな織り」には、地元集落産のしなの木の樹皮を用いています。

兵庫県佐用町 [ 生き甲斐づくり「生涯現役」 ] (H18)

加工原料となる大豆、コンニャク、ゆず、苺等すべて地元農家のものを使っています。

山口県下関市 [ 夢を橋にかけた島の女性起業活動 ] (H18)

使用食材はできる限り地元調達で、朝市や J A と連携をとりながら供給を受けています。

滋賀県甲賀市 [ 古代黒米を使った特産品作り ] (H17)

加工品の材料となる野菜や米は地元生産者との契約栽培のものを使っています。

生産者組合や原料生産者の組織化を図り供給体制を強化する。

岩手県二戸市 [ ちっちゃい店のでっかい夢 かあちゃんたちの食育 ] (H18)

雑穀料理の普及にともない、雑穀の生産グループや農協の雑穀生産部会が組織され生産が拡大しています。

山形県鶴岡市 [ 自然食は自然色！お漬物で村おこし ] (H18)

母体が農協であるため安定した原料供給が受けられます。

奈良県桜井市 [ 地元産そばを使ったそば処の経営 ] (H18)

そば栽培の生産費用を有限会社が補償する形をとっているで、休耕地の拡大抑制と有効活用につながっています。

加工部門のほかに地元農家出荷による直売所部門を設ける。

兵庫県佐用町 [ 生き甲斐づくり「生涯現役」 ] (H18)

直売所の完成にともない、地元農家 200 戸と契約、安価で新鮮・安心な野菜の品揃えを実現しました。

## 11. マーケティング・消費者ニーズの把握

消費者ニーズや消費動向を常に捉え、必要な場合は商品仕様の調整を行う。実践段階に入っても随時行い、商品改良や新商品創出時に役立てる。

消費者ニーズの捉え方には次のようなものがあります。

集客イベント等に参加し消費者意見聴取、動向調査を行う。

岩手県二戸市 [ ちっちゃい店のでっかい夢 かあちゃんたちの食育 ] (H18)

福井県美浜町 [ 漁村女性のパワーで「へしこの会社」を設立 ] (H18)

滋賀県甲賀市 [ 古代黒米を使った特産品作り ] (H17)

各種イベント等に出店・参加し、消費者から直接ニーズを聴取する手法をとっています。

消費団体や小売業者との交流を通して商品説明を行いニーズを把握。

山形県鶴岡市 [ 自然食は自然色！お漬物で村おこし ] (H18)

生協等での説明会・試食会を行い、ニーズの把握に努めました。

自店舗来訪客を対象に販売時に消費者意向をつかむ。

山形県鶴岡市 [ 自然食は自然色！お漬物で村おこし ] (H18)

山口県下関市 [ 夢を橋にかけた島の女性起業活動 ] (H18)

自店舗内でのアンケートによる顧客調査を実施しています。

会員制を敷き消費モニターとして活用。

高知県四万十町 [ 四万十川の天然素材を活かした商品開発で地域の活性化 ] (H18)

「リバー会員」として1,000人を商品モニターに依頼、消費者ニーズにあった商品開発をすすめました。

## STAGE 実践・発展段階

### 1. 商品製造・販売

売れる商品を製造販売する、市場に投入する。

売れ筋商品といわれるのは次のようなものです。

自慢の自家原料や地域原料を用いた加工品。

北海道名寄市 [ 地域特産「もち米」の生産から加工、販売まで ] (H18)

：地元産のもち米を使った餅各種

兵庫県小野市 [ “ 60 歳からの青春 ” 起業で人生が変わった ] (H18)

：自家乳ヨ - グルト

兵庫県佐用町 [ 生き甲斐づくり「生涯現役」 ] (H18)

：もち大豆味噌、豆腐等 + うどんコーナー

島根県海士町 [ 「自立・挑戦・交流」 ~そして確かな明日へ ] (H18)

：天然塩、海産物加工品

岐阜県恵那市 [ 超特選恵那栗の拡大 ] (H17)

：栗菓子

伝統の味を復権した、手間暇かかる伝統料理・加工品。

北海道江差町 [ 伝統菓子「追分こうれん」の製造・販売 ] (H18)

：手作りお菓子「こうれん」と鍋料理「ふきんこもち鍋」「つぼっこ鍋」など

新潟県山北町 [ 地域の伝統文化・生業にこだわった製造体験と販売 ] (H18)

：「赤かぶ」「アク笹巻き」など灰の文化に基づいた加工品・郷土料理

地域伝統の味を現代のニーズや嗜好にあわせてアレンジした地場産品。

山形県鶴岡市 [ 自然食は自然色！お漬物で村おこし ] (H18)

：庄内柿を加工した食酢、地域独特の「雪室」冷蔵方式の漬物

福井県美浜町 [ 漁村女性のパワーで「へしこの会社」を設立 ] (H18)

：塩と糠だけの塩辛い「へしこ」を現代風に。

秋田県横手市 [ 女性グループが手作りの漬物を秋田から全国へ ] (H17)

：甘さと塩分を控えた独自の漬物

滋賀県甲賀市 [ 古代黒米を使った特産品作り ] (H17)

：古代黒米を使用したのおこわ

地場材料の郷土料理。

岩手県二戸市 [ ちっちゃい店のでっかい夢 かあちゃんたちの食育 ] (H18)

：雑穀をご飯・主菜・副菜・デザート・お茶に用いたメニュー構成

STAGE

愛知県愛西市 [ 水郷の味わい豊か「レンコン料理」で地域に活力！ ](H18)

：レンコン料理各種

奈良県桜井市 [ 地元産そばを使ったそば処の経営 ](H18)

：「挽きたて、打ちたて、ゆでたて」そば

山口県下関市 [ 夢を橋にかけた島の女性起業活動 ](H18)

：新鮮な魚介類を使った海産物定食各種

地場の材料使用と地域伝統技術による工芸品。

新潟県山北町 [ 地域の伝統文化・生業にこだわった製造体験と販売 ](H18)

：伝統工芸品「しな織り」

顧客のニーズあるいは産地・事業者特性に沿った販売チャンネルを持つ。

販売チャンネルには次のようなものが考えられます。

自店舗売り。

岩手県二戸市 [ ちっちゃい店のでっかい夢 かあちゃんたちの食育 ](H18)

：雑穀料理

愛知県愛西市 [ 水郷の味わい豊か「レンコン料理」で地域に活力！ ](H18)

：レンコン料理

岐阜県恵那市 [ 超特選恵那栗の拡大 ](H17)

：栗菓子

顧客に産地まで足を運んでもらう「産地滞在・商品」のセット購入・販売を目指しています。

自店舗売りと小領域での個別配達販売。

兵庫県小野市 [ “60歳からの青春” 起業で人生が変わった ](H18)

：ヨーグルト

売り手と買い手の顔の見える販売を志向しています。

自店舗売りとイベント出張販売、注文宅配。

新潟県山北町 [ 地域の伝統文化・生業にこだわった製造体験と販売 ](H18)

：しな織り

顧客と作り手が互いに顔の見える関係を志向しています。

## STAGE

---

### 会員制宅配、全国注文宅配。

---

山形県鶴岡市 [ 自然食は自然色！お漬物で村おこし ] (H18)

：漬物

会員制の通信販売を行っています。

福井県美浜町 [ 漁村女性のパワーで「へしこの会社」を設立 ] (H18)

：へしこ漬

口コミで通信販売が全国に広がっています。

### 量販店等への卸し。

---

山形県鶴岡市 [ 自然食は自然色！お漬物で村おこし ] (H18)

：漬物

親会社である漬物問屋の系統に卸し販売をしています。

## 2 . 販売促進・顧客開拓

顧客や取引先を開拓する。営業活動を行う。

顧客や取引先を開拓する活動としては次のような方法があります。試食機会など顧客が直接商品を吟味できる場面を作ることも有効です。

商談会や物産展、イベント、異業種・同業種交流会等への参加。

北海道名寄市 [ 地域特産「もち米」の生産から加工、販売まで ] (H18)

取引業者の紹介を頼りに近郊市町村、大都市圏への販路開拓を画策、札幌圏や旭川にも支店をオープンするまでになりました。

秋田県横手市 [ 女性グループが手作りの漬物を秋田から全国へ ] (H17)

商品を持参してのイベント・物産展への参加を繰り返し行いました。

滋賀県甲賀市 [ 古代黒米を使った特産品作り ] (H17)

町内イベント・県外イベントに積極参加し、販促情報の受発信機会としました。

小売店、デパートや量販店などへの営業活動。

兵庫県作用町 [ 生き甲斐づくり「生涯現役」 ] (H18)

小売店やスーパーなどへ積極的に売り込みに行きました。

親事業体の販売網の活用。

山形県鶴岡市 [ 自然食は自然色！お漬物で村おこし ] (H18)

活動母体である農協販売網を積極的に活用しています。

口コミ。

福井県美浜町 [ 漁村女性のパワーで「へしこの会社」を設立 ] (H18)

宅配による口コミで全国にまで顧客が広まりました。

奈良県桜井市 [ 地元産そばを使ったそば処の経営 ] (H18)

顧客の主流はリピーターと口コミ客です。

キャッチコピーをつけるなどして、個人消費者の関心を高める。

兵庫県小野市 [ “60歳からの青春” 起業で人生が変わった ] (H18)

：ヨーグルト

「生乳100%、おいしさ200%」

拠点での集客イベント実施。

愛知県愛西市 [ 水郷の味わい豊か「レンコン料理」で地域に活力！ ] (H18)

：毎年7月に「ハス花見の会」を実施

## STAGE

---

奈良県桜井市 [ 地元産そばを使ったそば処の経営 ](H18)

：9月の開花期に「蕎麦ピクニック」を実施

周辺交流・観光施設と結んだ地域魅力アップで集客。

山口県下関市 [ 夢を橋にかけた島の女性起業活動 ](H18)

交流施設・地域内外観光施設と連携して、島の魅力を発信、集客に繋げています。



### 3 . プロモーション活動

商品、事業体、産地のPRを行う。

宣伝方法としては、次のようなものがあります。

マスコミ取材に積極的に対応し商品・事業体をPR。

北海道名寄市 [ 地域特産「もち米」の生産から加工、販売まで ](H18)

岩手県二戸市 [ ちっちゃい店のでっかい夢 かあちゃんたちの食育 ](H18)

兵庫県小野市 [ “ 60 歳からの青春 ” 起業で人生が変わった ](H18)

14 回のテレビ出演をしました。テレビ出演予告記事をヨーグルトとともに配布しPR効果を高めました。

奈良県桜井市 [ 地元産そばを使ったそば処の経営 ](H18)

滋賀県甲賀市 [ 古代黒米を使った特産品作り ](H17)

インターネットを活用した商品・事業体のPR。

北海道名寄市 [ 地域特産「もち米」の生産から加工、販売まで ](H18)

チラシ等によるPR。

兵庫県小野市 [ “ 60 歳からの青春 ” 起業で人生が変わった ](H18)

添加物なしの本物の味、安心の味をアピールする手製パンフレットを作成、配布しました。

地域全体のブランド・特産品PR。

北海道名寄市 [ 地域特産「もち米」の生産から加工、販売まで ](H18)

: 町による「餅の里」のPR

STAGE

## 4 . 商品ブランド価値・商品訴求力の向上

特産品や郷土料理の品質や味わいを磨き、そのブランド力が高まるよう努める。

商品のブランド価値や訴求力を高める方法としては次のようなものがあります。

生産者自身の評価に耐える産品・製品を育成する。

岐阜県恵那市 [ 超特選恵那栗の拡大 ] (H17)

：栗と栗菓子

栗きんとんに最適なブランド品種の開発、育成、収穫、製品化を生産者と菓子製造業者が吟味し、基準を設けて生産しています。

権威ある機関からの商品認証・団体認証を受ける。

岩手県二戸市 [ ちっちゃい店のでっかい夢 かあちゃんたちの食育 ] (H18)

：地産地消レストラン推進会議の認定

新潟県山北町 [ 地域の伝統文化・生業にこだわった製造体験と販売 ] (H18)

：「羽越しな布」の伝統工芸品指定

商品や地域の商標登録を行う。

福井県美浜町 [ 漁村女性のパワーで「へしこの会社」を設立 ] (H18)

：美浜町が「へしこの町」を商標登録

秋田県横手市 [ 女性グループが手作りの漬物を秋田から全国へ ] (H17)

：「秋田の田舎漬け」の商標登録

顕彰事業やコンクール参加。

福井県美浜町 [ 漁村女性のパワーで「へしこの会社」を設立 ] (H18)

：食アメニティ・コンテストで国土庁長官賞受賞

奈良県桜井市 [ 地元産そばを使ったそば処の経営 ] (H18)

：顕彰事業に参加・受賞により住民意識が変化

## 5 . 関連主体との連携強化

消費者との関係を強化する。

消費者との関係強化策としては次のような方法があります。

産地のファンを作る・産地を熟知する消費者を作る。

新潟県山北町 [ 地域の伝統文化・生業にこだわった製造体験と販売 ] (H18)  
地域のファンづくりを今後の課題として展開していきます。

会員制を敷き交流・情報交換機会を保持する。

高知県四万十町 [ 四万十川の天然素材を活かした商品開発で地域の活性化 ] (H18)  
会員制度「リバー」を立ち上げ、定期的な情報提供と、地元住民・会員間の交流会を実施しています。

周辺同業者や観光・交流施設との連携を強化する。

周辺同業者や観光・交流施設との連携策としては次のような形があります。

観光ルートのネットワーク化を図る。

滋賀県甲賀市 [ 古代黒米を使った特産品作り ] (H17)  
近隣の3店舗と共に、「LOHAS な忍者の里山体験」委員会を設置し、里山体験ルートを構築、同時に他の特産品・他の団体との連携強化を図っています。

STAGE

## 6 . 後続商品開発

需要を新たに作り出す新商品の開発が求められる場合もある。

後継の新商品開発には次のようなものがあります。

優位素材を用いた新加工製品。

北海道名寄市 [ 地域特産「もち米」の生産から加工、販売まで ] (H18)

: 「おこわ」の開発

北海道江差町 [ 伝統菓子「追分こうれん」の製造・販売 ] (H18)

: 「大福」の開発

兵庫県小野市 [ “ 60 歳からの青春 ” 起業で人生が変わった ] (H18)

: 「飲むヨーグルト」の開発

ヨーグルトの売上の頭打ち感から 12 年目に飲むヨーグルトを開発、売上低下に歯止めがかかりました。

別の優位素材を用いた新加工製品。

北海道江差町 [ 伝統菓子「追分こうれん」の製造・販売 ] (H18)

: 地場産の大豆を使った味噌、自家生産野菜を使った漬物

福井県美浜町 [ 漁村女性のパワーで「へしこの会社」を設立 ] (H18)

: 鯖をふぐに変えての「へしこ」づくり

## 7. 事業展開（事業拡大 事業縮小）を考える

創立当時の事業量から、事業拡大（あるいは事業縮小）など事業の新展開を求められる局面もある。

事業拡大の方法としては次のようなことが考えられます。

生産額・製造額の増強。

岐阜県恵那市 [ 超特選恵那栗の拡大 ] (H17)

：栗と栗菓子

他地域に 50 t 程度の生産畑の設置を計画。生産・販売システムの移転による 3 年後の稼動目指しています。

関連事業の展開。

北海道名寄市 [ 地域特産「もち米」の生産から加工、販売まで ] (H18)

：直売店営業、レストラン営業

北海道江差町 [ 伝統菓子「追分こうれん」の製造・販売 ] (H18)

：農産物直売所の運営

支店の展開。

北海道名寄市 [ 地域特産「もち米」の生産から加工、販売まで ] (H18)

：札幌、旭川に支店開設

事業成長に伴い、拠点増設や移転、支店整備等の選択が課題となる場合もある。

拠点の拡大については、次のような施設整備形態があります。

加工施設の増設。

福井県美浜町 [ 漁村女性のパワーで「へしこの会社」を設立 ] (H18)

：県単事業による加工施設建設

加工施設以外の施設整備。

北海道名寄市 [ 地域特産「もち米」の生産から加工、販売まで ] (H18)

：直売店・レストラン・コミュニティ広場の整備

兵庫県小野市 [ “ 60 歳からの青春 ” 起業で人生が変わった ] (H18)

今後の展開として、ヨーグルト使用の喫茶店、里山ハイキング、森林浴、オフロードマウンテンバイクの拠点作りを目指しています。

STAGE

## 8 . 地域還元

商品販売以外に地域への利益還元や貢献活動を行い、事業体の存在価値を磨くことも大切である。

地域還元の方法として次のようなものがあります。

伝統の味や加工・料理法を伝える。

北海道江差町 [ 伝統菓子「追分こうれん」の製造・販売 ](H18)

：小学校出前講座の実施

岩手県二戸市 [ ちっちゃい店のでっかい夢 かあちゃんたちの食育 ](H18)

：調理法講義・出前講座の実施

福井県美浜町 [ 漁村女性のパワーで「へしこの会社」を設立 ](H18)

：地元小学校へ「へしこづくり」の体験指導

愛知県愛西市 [ 水郷の味わい豊か「レンコン料理」で地域に活力！ ](H18)

：親子料理教室の実施

商品の福祉施設等への寄付、無料配布、無料招待。

秋田県横手市 [ 女性グループが手作りの漬物を秋田から全国へ ](H17)

：老人ホーム慰問や独居老人宅への漬物プレゼント

## 9 . 事業方針・従業員規程等の定期的確認、不断の経営対応

組織メンバーが日常・短長期の経営方針や遵守規定等を常時共有できるようにしておく。

経営方針等の確認・共有の方法としては次のようなものがあります。

定期的な組織内会議を持つ。

岩手県二戸市 [ ちっちゃい店のでっかい夢 かあちゃんたちの食育 ] (H18)

：月1の運営会議を開催

山口県下関市 [ 夢を橋にかけた島の女性起業活動 ] (H18)

：3班体制に則った定期的役員会の開催

必要なときその都度の経営会議を実施する。

新潟県山北町 [ 地域の伝統文化・生業にこだわった製造体験と販売 ] (H18)

運営、経理、経営状況等については、その都度出資者に報告することで、経営の安定を図っています。

STAGE

---

## 10. 重要課題発生時の経営対応

経営上、事業運営上の問題発生時対応や、将来経営戦略対応をとれるようにしておく。

問題発生時の対応や将来経営戦略への対応など、重要事項への対処には次のような形があります。

あくまで組織内の経営会議等を通して解決する。

福井県美浜町 [ 漁村女性のパワーで「へしこの会社」を設立 ] (H18)

小さなもめ事は、その都度組織内で会議を開催して解決を図っています。

専門家、専門コンサルタントと相談して解決策を探る。そのために、

必要時に業務代行や指示を仰げる専門家や相談窓口を確保する。

福井県美浜町 [ 漁村女性のパワーで「へしこの会社」を設立 ] (H18)

経営上の困難な問題等、重要事はコンサルタントへ相談するようにして解決を図ります。



## STAGE 持続ケア段階

### 後継者の育成

事業活動が軌道に乗り経営安定時期に入る頃には、起業時のメンバーも高齢化してくるので、後継者育成が課題になる。

後継者育成手法を確立している事例は数少なく、先進事例でさえ活動の後継者問題は深刻であることがうかがえます。組織の設立後、10年程度を境に後継者問題が表出してくるケースが多く、後継者の育成については早い時期からの取組みが重要になります。

北海道名寄市 [ 地域特産「もち米」の生産から加工、販売まで ] (H18)

：設立後 17 年目

立ち上げメンバーの高齢化で誰が会社を引き継ぐかが課題となっています。

奈良県桜井市 [ 地元産そばを使ったそば処の経営 ] (H18)

：12 年目

会社の役員・リーダー育成が課題です。メンバーの高齢化により、今後の栽培・加工・販売の一貫システム稼働も心配されます。

福井県美浜町 [ 漁村女性のパワーで「へしこの会社」を設立 ] (H18)

：6 年目

へしこ作りは重労働のため後継者がなかなか育たないことが悩みです。



## 選定事例一覧

### 参考資料

各事例の詳細は、農林水産省ウェブサイト内に掲載されています。

URL <http://www.maff.go.jp/tatiagaru/section.htm>

## 「立ち上がる農山漁村」選定事例一覧

平成16年度

No	都道府県	市町村	事業者名	取組内容
1	北海道	帯広市	帯広市川西農業協同組合	長いものブランド化と輸出促進
2	北海道	黒松内町	黒松内町	北限のブナ林をシンボルとした里づくり
3	北海道	小清水町	(有)シナジーこしみず	ゆり農家と地域住民の連携による地域おこし
4	北海道	中札内村	想いやりファーム	女性による無殺菌牛乳の生産・販売
5	宮城県	気仙沼市	牡蠣の森を慕う会	水源の森と海をつなぐ交流
6	山形県	金山町	四季の学校・谷口運営委員会	廃校を活用した農業農村体験
7	福島県	西会津町	西会津町	食生活改善による平均寿命の飛躍的な向上
8	栃木県	茂木町	牧野地区むらづくり協議会 そばの里まぎの協議会	そばのオーナー制度による地域おこし
9	群馬県	みなかみ町	新治村農村公園公社	リゾート型農業への挑戦
10	東京都	八丈町	J A 東京島しょ	地域条件を生かした観葉植物の輸出
11	神奈川県	相模原市	(有)オーストリッチヒル	特区によるダチョウの食肉生産
12	長野県	松本市	松本市(旧:四賀村)	全国に先駆けたクラインガルデン
13	静岡県	南伊豆町	妻良観光協会	漁家民宿での漁業体験学習旅行
14	富山県	立山町	農事組合法人 食彩工房たてやま	女性起業で地域特産物の加工・販売
15	福井県	おおい町	第三セクター(株)名田庄商会	特産品の販売による村おこし
16	岐阜県	郡上市	(株)明宝レディース	完熟トマトの手作りケチャップ
17	愛知県	安城市	水土里ネット明治用水	農業水利施設を活用した地域住民との交流
18	三重県	熊野市	丸山千枚田保存会	千枚田保全活動を通じた都市農村交流
19	滋賀県	東近江市	東近江市(旧愛東町)	菜の花による資源循環型地域づくり
20	京都府	南丹市	美山町振興会	茅葺き民家を活用した日本一の田舎づくり
21	大阪府	高槻市	大阪府森林組合	木質ペレットの製造とその活用
22	島根県	益田市	西いわみ農業協同組合	西いわみヘルシー元氣米の輸出
23	岡山県	倉敷市	下津井地区漁連青壮年部、海の特産品 開発研究会、下津井を考える会 他	漁村の特性や伝統を活かした町づくり
24	広島県	三次市	第三セクター(株)君田21	温泉と特産物による地域交流
25	徳島県	上勝町	(株)いりどり、上勝町、上勝彩部会、 J A 東とくしま 他	野山の枝葉の商品化による地域産業おこし
26	愛媛県	内子町	(株)内子フレッシュパークからり 他	販売情報管理システムによる効率的な出荷・ 販売
27	高知県	檜原町	檜原町森林組合	F S C 森林認証と風力発電による山村づくり
28	大分県	日田市	大分大山町農業協同組合	生産者の顔が見える農産物の販売
29	鹿児島県	鹿屋市	柳谷自治公民館	住民活動による公共サービスの提供
30	沖縄県	石垣市	石垣島果樹生産出荷組合	立地条件を生かした完熟マンゴー栽培・販売

## 平成17年度

No	都道府県	市町村	事業者名	取組内容
1	北海道	せたな町	(有)ヒルトップファーム	建設会社の農業参入による安全・安心のめん羊飼育とレストラン経営
2	北海道	沼田町	北いぶき農業協同組合(沼田支所)	雪を利用したまち・特産品(雪中米など)づくり～克雪から利雪・親雪へ～
3	北海道	置戸町	置戸町	オケクラフト生産・作り手養成活動
4	北海道	興部町	ノースプレインファーム(株)	「大地も草も牛も人も健康」をテーマに生産から販売まで付加価値を付けた酪農で一頭一雇用
5	岩手県	花巻市	花巻農業協同組合 母ちゃんハウスだあすこ	母ちゃんパワー農産物直売所で地域農業の活性化
6	秋田県	横手市	浅舞(あさまい) 婦人漬物研究会	女性グループが手作りの漬物を秋田から全国へ～商標登録、品質確保の努力でブランド確立～
7	山形県	小国町	小国町	地域資源を活用した山村総合産業の創出
8	栃木県	茂木町	茂木町	家畜排泄物や町内生ごみ、落葉などの堆肥化による環境保全型農業の推進
9	埼玉県	本庄市	本庄PF研究会	知的財産権(特許、商標)を活用した情報付き農産物の創造
10	千葉県	鴨川市	NPO法人 大山千枚田保存会	千枚田保全活動を通じた都市農村交流
11	千葉県	成田市	(株)生産者連合デコボン	日本産農産物海外宅配の取組み
12	神奈川県	小田原市	小田原市農林畜産物特産品開発 推進協議会	行政・消費者・生産者が一体となった農林水産業の振興
13	福井県	小浜市	小浜市	「御食国」若狭おぼまの伝統、「食」を中心に据えた「食のまちづくり」
14	長野県	小谷村	中谷郷が元気になる会	地域資源最大限活用による都市農村交流
15	岐阜県	恵那市	(株)里の菓工房	超特選恵那栗の拡大
16	愛知県	豊田市	豊田・加茂 菜の花プロジェクト	食品副産物と遊休地を利用して農業の活性化を図る
17	三重県	志摩市	あのりふぐ協議会	地域資源の天然トラフグを活かした地域ブランドの創出
18	滋賀県	甲賀市	(有)くのいち本舗	古代黒米を使った特産品作り
19	兵庫県	丹波市	加古川流域森林資源活用検討協議会	家づくりで森づくり 立木販売システム
20	和歌山県	田辺市	中辺路(なかへち)町森林組合	「緑の雇用」と森林の環境整備で地域おこし
21	和歌山県	北山村	北山村	地域特産柑橘「じゃばら」の地域ブランド化と「筏師」の伝統を活かしたむらおこし
22	島根県	浜田市	浜田市水産物ブランド化戦略会議	「水産ブランドどんちっち」-利己的から利他的に-
23	島根県	江津市	農業生産法人(有)桜江町桑茶生産組合	遊休資源「桑」を生かした農業の6次産業化
24	香川県	小豆島町	(株)ヤマヒサ	島産オリーブ振興特区と特許を活用した地域振興
25	愛媛県	松前町	(有)あぐり (金亀建設株式会社)	地域に根ざした循環型農業の展開と建設労働力の温存
26	高知県	室戸市	土佐あき農協羽根園芸研究会ナス部会	海洋深層水を使ったなす生産及びブランド化
27	高知県	馬路村	馬路村農業協同組合	ゆずの市場開拓から始まった地域づくり
28	佐賀県	伊万里市	特定非営利活動法人 伊万里はちがめプラン	「生ごみを宝に！」食資源環境と地域の活性化
29	沖縄県	名護市	農業生産法人(有)水耕八重岳	ゴーヤーを活かした商品開発による地域振興
30	沖縄県	南城市	(株)たまぐすく	沖縄の主幹作物「さとうきび」を生かした村づくり

平成18年度

No	都道府県	市町村	事業者名	取組内容
1	北海道	江別市	江別麦の会	「麦の里えべつ」 - 小麦でつながる産学官民・広域ネットワーク
2	北海道	名寄市	(株)もち米の里ふうれん特産館	地域特産「もち米」の生産から加工、販売まで
3	北海道	根室市	酪農家集団A B - M O B I T	「都市と農村交流」 - 最東端の街から日本初のフットパスを -
4	北海道	江差町	新函館農業協同組合女性部江差支部	江差地域の伝統菓子「追分こうれん」の製造・販売
5	北海道	長沼町	長沼町グリーン・ツーリズム推進協議会、同運営協議会	町を挙げての長沼型グリーン・ツーリズム
6	北海道	栗山町	栗山町ハサンベツ里山計画実行委員会	人と自然が共生する里山づくり20年計画
7	青森県	平川市	NPO法人尾上蔵保存利活用促進会	農家蔵の保存利活用とグリーン・ツーリズム
8	青森県	鱒ヶ沢町	NPO法人白神自然学校一ツ森校	都市と農村の交流 - 杉並区の子どもの自然体験塾
9	岩手県	二戸市	雑穀茶屋つぶっこまんま	ちっちゃい店のでっかい夢 かあちゃんたちの食育
10	岩手県	八幡平市	八幡平市花き振興協議会	地域オリジナル品種を用いたリンドウ輸出の取組
11	岩手県	住田町	岩手県住田町	森林・林業日本一の町づくり
12	宮城県	石巻市	あじ島冒険楽校	あじ島冒険楽校(未来の大人たちへ)
13	宮城県	南三陸町	旧林際小学校運営事業組合	廃校を利用したグリーン・ツーリズムによる地域活性化
14	山形県	鶴岡市	羽黒・のうきょう食品加工(有)	自然食は自然色!お漬物で村おこし
15	山形県	金山町	共生のむら すぎさわ	都市との交流による山村の活性化
16	福島県	いわき市	(有)とまとランドいわき	環境保護と地域活性化を第一に考えた農業多角経営
17	栃木県	那須塩原市	那須野ヶ原土地改良区連合(水土里ネット那須野ヶ原)	バイオマス等地域資源の利活用
18	栃木県	茂木町	竹原郷づくり協議会	新やすらぎ空間「かくや姫の郷」
19	埼玉県	宮代町	埼玉県宮代町	「農」のあるまちづくり~「新しい村」の取組~
20	新潟県	上越市	農事組合法人雪太郎の郷	特産の大根づくりに「女、男共同参加」で集落活性化
21	新潟県	佐渡市	南佐渡海洋公園管理組合	海の多角的活用=交流人口増加で漁村を元気に
22	新潟県	山北町	さんぼく生業の里企業組合	地域の伝統文化・生業にこだわった製造体験と販売
23	福井県	美浜町	(有)なぎさ会	漁村女性のパワーで「へしこの会社」を設立
24	山梨県	北杜市	NPO法人えがおつなげて	都市と農村の多面的交流による農村の活性化
25	長野県	飯山市	(財)飯山市振興公社 なべくら高原・森の家	グリーン・ツーリズムに端を発した地域資源活用の取組
26	長野県	泰阜村	グリーンウッド自然体験教育センター	泰阜村の自然環境を生かした体験学習事業
27	岐阜県	郡上市	郡上八幡・山と川の学校	小学生を対象にした自然体験・農山村体験「冒険キッズ」
28	愛知県	愛西市	立田地区生活改善実行グループ	水郷の味わい豊か「レンコン料理」で地域に活力!
29	三重県	松阪市	うきさとむら運営協議会	“なごみ、くつろぎ、いやし”と仲間作りの心で農村づくり
30	三重県	多気町	水土里ネット立梅用水	心豊かな里づくりによる都市住民との交流

## 平成18年度

No	都道府県	市町村	事業者名	取組内容
31	滋賀県	高島市	アドベリー生産協議会	健康果実「アドベリー」による第6次産業の創造
32	京都府	与謝野町	NPO法人丹後の自然を守る会	廃食用油回収
33	兵庫県	小野市	(有)陽子の手作りヨーグルト	“60歳からの青春”起業で人生が変わった(0からの出発)
34	兵庫県	佐用町	(有)ふれあいの里上月	生き甲斐づくり「生涯現役」
35	奈良県	桜井市	(有)荒神の里・笠そば	地元産そばを使ったそば処の経営
36	和歌山県	那智勝浦町	色川地域振興推進委員会	定住希望者に対する支援活動等
37	島根県	海士町	(株)ふるさと海士	「自立・挑戦・交流」～そして確かな明日へ～
38	広島県	安芸高田市	住民自治組織 川根振興協議会	「住民自治」-「もやい」の心で安心して暮らせる農村をめざして-
39	広島県	世羅町	世羅高原6次産業ネットワーク	6次産業が突破口 広域連携による「せら夢高原」の活性化
40	山口県	下関市	(有)フレッシュしおかぜの里	夢を橋にかけた島の女性起業活動
41	山口県	山口市	NPO法人学生耕作隊	若者とシニアが広げる農業・農村の活性化!!
42	徳島県	美波町	伊座利の未来を考える推進協議会	都市との交流を通して学校と地域の灯火を守る
43	高知県	四万十町	(株)四万十ドラマ	四万十川の天然素材を活かした商品開発で地域の活性化
44	高知県	黒潮町	黒潮カツオ体験隊	カツオのタタキづくり体験
45	熊本県	小国町	(財)学びやの里	小国流ツーリズムの展開
46	熊本県	南阿蘇村	NPO法人阿蘇エコファーマーズセンター	農業を志す人を育成・自立させ、地域活性化
47	熊本県	南阿蘇村	南阿蘇村おあしす米生産組合	「米の産直」-都市との連携“食から緑のエネルギーへ”
48	熊本県	氷川町	JAやつしる竜北果樹部会梨部	吉野梨を、海外へ
49	沖縄県	東村	(有)やんばる自然塾	住民主導のエコツーリズムで地域活性化
50	沖縄県	今帰仁村	農業生産法人(有)今帰仁アグー	在来豚による地域興